



YCC県民文化ホール

がいぎかい

令和3年1月25日発行 ★ 議会活動をわかりやすくお伝えします



今月の見どころ

【特集】輝く仲間たち	2 ページ
令和2年 第4回定例会	4 ページ
ここが聞きたい 代表質問	7 ページ
ここが聞きたい 一般質問	11 ページ
令和2年 第4回・第5回臨時会	13 ページ



# 特集 輝く仲間たち (第4回)

毎回、市内でがんばる方々に登場していただきます。  
今回は、「成人式実行委員会」です。

甲斐市では、新成人からなる成人式実行委員会(※)が企画した成人式を毎年挙げております。今回は、その実行委員にスポットを当てインタビューをいたしました。

なお当日は、1都3県(東京、埼玉、千葉、神奈川)に緊急事態宣言が発出されるなか、1都3県に居住または、経由して帰省する新成人に参加自粛を要請するとともに、マスクの着用、入場前の検温、手指のアルコール消毒、ソーシャルディスタンスの確保等の感染症対策に万全を期して、開催されました。(当日参加者540人)

## ※成人式実行委員とは・・・

平成12年4月2日から平成13年4月1日に生まれた新成人(平成25年3月小学校卒業、平成28年3月中学校卒業)のうち、令和3年成人式(令和3年1月10日開催)の企画、運営(記念品選定・アトラクション運営・司会・ピアノ伴奏等)をしていただいた方々です。

選考については、市議会ホームページや広報誌で公募し、さらに新成人が卒業した市内中学校の恩師の先生からご紹介をいただきました。

## 実行委員になったきっかけは？

- 中込 自分に声がかかるのを待っていた。
- 望月 立候補しました。

## 実行委員会での苦労したことや良かったことは？

- 加藤 コロナの影響もあり、アトラクション決めが苦労しました。
- 望月 自分達の成人式に携われたことが良かった。
- 齋藤 自分たちの成人式をつくれて良かった。



## 20歳を迎えての抱負は？

- 中込 大人になる自覚を持ち、成長した自分になる。
- 萩原 色んなことに挑戦する。

## 甲斐市のどこが好き？

- 齋藤 自然が豊かなところ。
- 萩原 やはたいめ

## 今の社会に思うこと

- 望月 我慢が必要だと思う。
- 山寺 コロナで良くも悪くも日本が変わりそう。

## 将来の夢は？

- 加藤 市役所職員
- 望月 (目標)強いキックボクサーになること。  
(夢)やりたいことを全部やること。
- 齋藤 公務員
- 山寺 好きなこと、やりたいことを仕事にする。



※十分な感染対策を行い実行委員会を開催しました。



## お父さん・お母さんへ一言

- 中込 産んでくれてありがとう!必ず恩返しします!
- 加藤 育ててくれてありがとう。
- 望月 立派に育ててくれてありがとう。

- 齋藤 支えてくれてありがとう。
- 萩原 ありがとう。
- 山寺 20年間育ててくれて、夢ややりたいことを全力でサポートしてくれてありがとう。



はぎはら あやか  
萩原綾香さん  
(玉幡中出身)



やまであら ゆの  
山寺由乃さん  
(双葉中出身)



もちつき やまと  
望月稜斗さん  
(玉幡中出身)



なかごみ りょうま  
中込龍真さん  
(竜王北中出身)



さいとう まさや  
齋藤匡哉さん  
(竜王北中出身)



かとう れん  
加藤 蓮さん  
(竜王北中出身)

# 令和2年 第4回定例会

## 定例会のあらまし

令和2年第4回定例会は、12月9日から18日までの10日間の会期で開かれました。市長から条例改正および補正予算などの議案が提出され、全て原案どおり可決されました。また、7会派の代表質問、6人の議員から一般質問が行われました。定例会の様子は、市議会ホームページで録画映像を配信していますので、ぜひご視聴ください。

甲斐市議会だより(かいギカイ)では、主な内容をピックアップしてお知らせします。第4回定例会の詳細な内容は、こちらをご覧ください。



## 条例 甲斐市行政機構の改革に伴う関係条例の整理に関する条例

### 条例改正の内容

効率的な行政運営と、多様化する市民ニーズや新たな行政需要に対応するため、令和3年度に組織機構の見直しを行うことによる、関係条例の改正。

## 令和3年度新たに編成される行政組織 (青字：令和3年4月からの変更箇所)

部等	課等	部等	課等
	秘書室(本館3階)	子育て健康部	子育て支援課(本館1階) 健康増進課(本館1階)
総合戦略部	経営戦略課(本館3階) 財政課(本館3階)	都市建設部	建設課(本館2階) 都市計画課(本館2階)
総務部	総務課(本館3階) 人事課(本館3階) スマートプロジェクト推進課(本館3階)	産業振興部	農林振興課(本館2階) (農業委員会事務局) 商工観光課(本館2階)
防災危機管理監	(防災危機管理課) (新館2階)	公営企業部	上下水道業務課(水道事務所1階) 上下水道工務課(水道事務所2階)
市民部	市民戸籍課(新館1階) 税務課(本館1階) 収納課(本館1階) 保険課(新館1階)	会計課(本館1階)	
生活環境部	市民活動支援課(本館2階) 環境課(本館2階) 敷島支所市民地域課 双葉支所市民地域課	教育委員会事務局(教育部)	教育総務課(新館2階) 学校教育課(新館2階) 生涯学習文化課(新館3階) スポーツ振興課(新館2階) 図書館 学校給食センター(敷島・双葉)
福祉部(福祉事務所)	福祉課(新館1階) 障がい者支援課(新館1階) 長寿推進課(新館1階)	議会事務局(監査委員事務局) (本館4階)	

## その他、今定例会で可決された条例

- 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 甲斐市国民健康保険税条例の一部改正
- 甲斐市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 甲斐市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 甲斐市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正

## 補正予算

甲斐市一般会計補正予算(第7号)

組織機構の見直しに伴う施設改修等に係る経費および「安心甲斐・市民支援事業」の関連経費等 6億5,324万円増額

甲斐市一般会計補正予算(第8号)

子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯に、子育てに対する負担の増加や収入の減少などにより特に大きな困難が心身等に生じていることを踏まえ、臨時特別給付金(1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円(1回限り)を再支給するための経費 49,850千円増額

## 主な内容

竜王庁舎維持管理事業 / 3,398万2千円 増額

組織機構の見直しに伴う施設改修等に係る経費

バイオマス産業都市推進事業 / 2億1,826万3千円 減額

事業スケジュールの遅れによる造成工事費等

商工振興事業 / 2千円 増額

県の特別融資を受けた中小企業等に信用保証料の半額を市が負担する(安心甲斐、市民支援)事業において、融資利用者の増加に伴う経費

特別定額給付金事業 / 4,743万1千円 減額

給付対象者1人につき10万円を給付する特別定額給付金事業の事業確定に伴う事務費等不用額

## 特別会計補正予算

甲斐市国民健康保険特別会計補正予算(第4号) ..... 8,962万円 増額

甲斐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号) ..... 257万4千円 増額

甲斐市介護保険特別会計補正予算(第4号) ..... 6,753万4千円 増額

甲斐市水道事業会計補正予算(第3号) ..... 101万2千円 増額

甲斐市下水道事業会計補正予算(第3号) ..... 3,391万8千円 増額

## 主な内容

後期高齢者医療特別会計 / 257万4千円 増額

税制改正に伴う、保険料軽減判定所得システムの改修委託料等



## 指定管理者

市内、公の施設のうち、以下の2施設について、令和3年4月1日以降の管理者は、次のとおり決まりました。

施設名	指定管理者となる団体	期間
双葉登美団地地域し尿処理施設	双葉登美団地汚水処理施設管理組合	令和3年4月1日から 令和8年3月31日(5年間)
甲斐市双葉ふれあい文化館	公益財団法人 やまなし文化学習協会	令和3年4月1日から 令和8年3月31日(5年間)

# 委員会レポート

## 総務教育常任委員会

**財政調整基金積立金** 5億8,264万3千円増額

**概要** 補正予算に伴う、歳入歳出の差引額を財政調査基金へ

**Q** 財政調整基金積立金残高は。

**A** 令和元年度末が46億2,375万6千円、今年度新型コロナウイルス対策経費等で取り崩し、12月補正後で29億4,736万9千円となる。

## 厚生環境常任委員会

**甲斐市国民健康保険税条例の一部改正の件**

**概要** 低未利用土地等の譲渡に係る特例措置、軽減判定基準の見直し

**Q** 低未利用土地等の譲渡に係る特例措置とは

**A** 低未利用地等とは、都市計画区域内にある、空き地や耕作放棄地など、管理に苦慮している土地。譲渡価格が500万円以下の低額な一定の低未利用土地等を譲渡した場合に長期譲渡所得から100万円を控除するもの。

## 建設経済常任委員会

**地産・地消事業** 22万6千円増額

**概要** 昨年の台風19号の影響によるモモ孔細菌病の被害が引き続き発生しているため、防除支援を実施するため

**Q** モモせん孔細菌病秋季防除対策支援補助金となっているが、散布時期は秋季だけか。

**A** 令和2年9月1日以降の防除が対象となる。

# 代表質問

こ こ が  
聞 き た い

第4回定例会では、各会派から7人の議員が代表質問を行い、2日間にわたり活発な議論を展開しました。

質問と答弁を要約した内容は、7ページから10ページです。

なお、市議会ホームページで、代表質問の録画映像を配信していますのでご覧ください。

録画映像のQRコードは  
こちら ▶



甲斐市議会 議会中継

検索

代表質問の詳細な内容については各議員のQRコードからご覧いただけます。

代表質問とは、所属する会派を代表して、執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または、疑問を質すことをいいます。



定例会の様子

## 土地区画整理事業の推進について



新政会  
秋山照雄

**Q** 玉幡中学校東側の西八幡地区の市街化調整区域、市道中八幡玉幡中学校線から南側区域、市道中八幡玉幡中学校線から市道上八幡実元橋線までの区域、アルプス通り北側の万才地区を、土地区画整理事業のモデル地域として取り組めないか。

**A** 土地区画整理事業は、未整備の市街地や市街地予定地を、健全な市街地とするため、道路や公園などを整備するとともに宅地形状を整え、良質な住宅地をつくる事業である。3つの区域については、甲府都市計画区域内において、市街化を制御することとされている市街化調整区域であり、また、西八幡地区は、農業振興地域の整備に関する法律の農業振興地域に指定されており、生産性の高い第一種農地に分類されていることから、現時点では原則として、農地の転用が難しい状況である。また、アルプス通り北側の万才地区は、平成26年3月に、条例を制定し、開発行為の緩和基準を設けており、一定条件を満たす土地利用が可能となっている。

質問の地域が含まれる甲府都市計画区域については、人口や都市機能の拡散を抑制するとともに、市街地外の優良農地を適切に保存していくため区域区分を設定し、開発圧力を市街地内に適切に誘導していく方針が示されている。なお、本市は県内で唯一、微増であるが人口増加を示している自治体であるため、土地区画整理事業による市街地の整備手法については検討・研究を進めていく。

**Q** 農業振興地域での農振除外等、農政部局との協議の課題は。

**A** 農業後継者の住宅建築等の個別案件とは異なり、農用地区域からの除外案件であり、農業振興地域整備計画の達成に支障を及ぼす可能性が高くなることや事業そのものの必要性、実現性等が判断材料となることから難しい。

**Q** 3つの地区の地権者を対象にした、農業後継者の有無や土地の貸地希望、耕地整理実施希望等を含めた土地利用意向調査の実施を。

**A** 西八幡地区および万才地区の農地の現状を見ると荒廃農地が少なく適正な土地利用が図られていることから、意向調査については、今後の農地としての活用状況を見ながら検討していく。



## その他質問項目

- 県マスタープランへの本市の考え方について
- 市の財政に対する新型コロナの影響について





### 子育てしやすいまちづくりについて

公明党 保坂 芳子

Q 大型遊具を備えた全天候型の屋内子ども向け施設のニーズが高いが、子育て拠点としての整備の考えは。

A 室内遊具の充実や土日祝日の開設、より専門的な育児相談ができる窓口設置も含め、「子ども子育て会議」を活用し保護者と子ども達が笑顔で集える子育て支援の拠点を検討して参りたいと考えている。

Q 発達障がいのある児童生徒への支援に「CLM」の導入を。

A 市で実施している「すこやかサポート会議」の専門スタッフによる保育園の巡回支援と保育士の支援力のスキルを向上させる「CLM」の連携を検討していく。

Q 保育士確保のため事務負担軽減にICT導入、eラーニング活用、子育て中や介護中の職員の時差出勤等の働き方改革、コロナ禍での保育士への支援をしてはどうか。

A 保育所入所の様々な課題の要因の1つは保育士不足なので、保育士の就労環境向上を県の「保育等人材確保定着等協議会」を活用し、議論する。

Q 多胎児・多子世帯への更なる支援を。

A 新規に多胎児・多子育児経験者による交流事業を導入する。健康増進課で交流事業を開催するにあたり、愛育会の役割として託児を想定しており、母親に寄り添っていく。

Q 甲斐市子育て応援アプリおよび母子手帳電子化推進を。

A 子育て応援アプリは、母子健康手帳アプリとしても一体化して活用できることを想定し、早期導入に向け、関係機関で検討を進めている。

Q 不妊治療について、遠くの医療機関に通う人への助成は。

A 医療機関が県内4か所と少なく県外に通う必要がある。市独自で交通費の一部助成を導入する方向で準備する。

Q 男性の育児休暇取得率向上を。

A 本市での男性職員の育児休業の取得はなく、育児参加休暇や配偶者出産休暇の取得に留まっている。今後「自己申告書」に男性職員の育児休業項目を設ける事を検討する。

Q 子どもの貧困対策の食料支援の強化を。

A 「夏休み子ども支援事業」を実施し、249世帯から申請があり、394人の児童生徒に対し食料支援を実施した。引き続き、教育委員会と連携し食料支援を必要とする困窮した全ての児童生徒が支援を受けられるように取り組む。



#### その他質問項目

- 行政手続きの押印廃止への対応について
- デジタル化でオンライン申請推進について
- 学校給食施設の整備計画方針について



### 第4次甲斐市行政改革大綱について

颯新クラブ 有泉 庸一郎

Q 多様な財源の確保について伺う。

A これまで取り組んできた、ふるさと応援寄附金の拡大や広告事業による収入の確保に加え、地方創生応援税制や基金の有効活用など、新たな自主財源の創出について調査研究を行う。

Q ふるさと応援寄附金の拡大等、新たに自主財源の創出について、調査研究を行うということですが、企業誘致等、商工業や農業の振興について伺う。

A 本市では企業誘致の推進を図るため、今年度、甲斐市産業立地事業費助成金交付要綱を県の要綱に連携させる形で改正して、県との連携を密に図り、有効な土地利用の見直しおよび整備手法等の調査・研究を行いながら企業誘致に努めていく。

Q 人的資源の強化について伺う。

A 社会環境の変化や多様化、高度化する住民ニーズに即応し、豊かさが実感できる地域社会を築きあげていくためには、迅速かつ確に対応できる組織体制の整備と併せ、職員の労働意欲や知識、技術の向上が求められる。本市においては、職員の業務遂行能力や資質の向上等を目的に、研修等への積極的な参加を促している。

Q 職員の育成強化のため、研修等実施されているようですが、研修制度の詳細を伺う。

A 研修制度として、山梨県市町村職員研修所を職場外研修機関として位置づけて行うと同時に、職員自らが業務に必要な研修を計画する提案型研修も行っている。

Q 情報発信と情報公開の充実について伺う。

A 情報発信については、制度周知や啓発といったお知らせ記事以外にも、市政運営の方針やまちづくりに関する情報などを市民に対してわかりやすく迅速に、新聞紙面を用いた広告掲載や、NNS放送局による市町村情報の放送等さまざまな媒体を活用し情報発信に努める。

情報公開の充実については、市民に対する説明責任が全うされるように努めるとともに、市政への理解と信頼を深め、市民参画の開かれた市政を一層推進し、保有する情報を適切に公開し、市民との情報共有に努めていく。



#### その他質問項目

- 甲斐市の自治会の現状について
- 自治会における問題点と今後の取組について
- 「太陽光発電施設の設置」の条例化について
- 宮浦沢地区の施設の維持管理計画等について



### 市政運営(定数・税・福祉など)について

日本共産党 甲斐市議団 松井 豊

Q 住民サービスの根幹をなす正規職員は441人(定員460人)に対し、同規模の南アルプス市611人、笛吹市591人と合併前の旧町村数を考慮しても少なすぎる。新定員適正化計画では少なくとも500人に増員すべき。

A 現在、策定作業を行っている第4次定員適正化計画(R3~5年)では、類似団体の状況を考慮しながら職員の増員を予定している。

Q 保育所の職員は、半数超が非正規である。新計画の中で正規の保育士を50%以上にすべきだがどうか。

A 保育士は非常勤職員に依存している状況なので、今後、園児数の動向を注視しながら、正規職員の増員を検討していく。

Q 木質バイオマス発電の電気エネルギーへの転換率は25%が上限で熱利用(1%)を加えても7割の廃熱が利用されず「もったいない」ことになる。石油発電の40%、ガス化発電の50~60%に比肩するためには、本格的な熱利用事業を市の主体的企業(民間との協力を含む)として取り組むべきだがどうか。

A 現在、取組んでいる熱供給設備導入調査・事業化計画策定業務において、より有効な排熱の活用について調査・研究を進めている。

Q 障がい者の労賃は最も多い就労支援継続B型で16,665円/月で、県の賃金向上計画20,300円/月(2020年)とは大きな隔りがあり、コロナ禍で減額の恐れさえある。また、障がい者優先調達法の役務がゼロ(全県物品1,540万円、役務1,380万円(2019年))で8年間放置されている。第6期障がい福祉計画では法の主旨に則った取り組みを明確にすべき。

A 調達法の規定に基づく物品購入はトイレペーパーやパンなど230万円(H25年比3.3倍)となっている。役務は提供施設が少なく課題も多いので発注に至っていない。引き続き、発注可能な業務を精査し就労施設等と協議していく。

Q 前回質問の滞納差押えケースの場合、差押えは家族3人で19万円が国の目安なのに年金収入が月16万7千円と他に確実な収入が無いのに、年金の月10万円を差押えたのは、国税徴収法や判例から見ても違法である。今後はどうか。

A 年金収入だけでは差押え可能額に達していない。今後も徹底した調査により、財産を特定した場合、適法に差押えを執行していく。



#### その他質問項目

- 市の障がい者の雇用人数と国の基準について
- 民間企業の事業撤退の理由について
- 農福連携の取組について
- 滞納者の車の差押えについて



### 甲斐市誕生以来、初の市長選挙について

進和会 金丸 寛

Q 選挙を通じて、全体の感想を伺う。  
A 多くの市民と直接、言葉を交わす機会を得て、様々な意見、要望をいただくことが出来、貴重な経験、素晴らしい機会を得ることができたものと考えている。

Q 中傷ビラの配布と、強力と思われた候補者降ろし工作があったと聞かすが、その事実の有無を伺う。

A 中傷ビラについては、具体的な内容が不明であり、答えに窮する。私自身も、事実と異なるビラ等で被害に遭い残念に感じた。強力と思われた候補者を降ろす工作の件については、内容が不明瞭であり答えが難しいが、特に心当たりはない。

Q 関連法(地方公務員法)で言う違反行為はなかったのか。

A 一般職地方公務員の政治的行為が制限されており、特定の政党等を支持又は反対する目的で、投票勧誘運動等の積極的関与や寄附金等の募集の関与、文書等の庁舎への掲示等はしてはならないとされている。なお、今回の選挙において、職員の法令違反の報告は受けていない。

Q 防災対策の強化の中に「やはた公園」が入っているが、立地条件等を疑問視する市民も多いが、この点はどのように考えてのことか。

A やはた公園は、大規模災害発生時における防災拠点の一つとしての役割を担う施設として位置づけられており、指定避難所の玉幡中に隣接していることから、それを補完する施設利用のほか、一時避難場所や、物資等の集積場所としての運用を想定している。災害発生時には、状況に応じた対応が求められることから、各避難所の支援を行うための施設として柔軟な活用方法を検討している。

Q やはたも栽培の最適地をつぶして公園にしたことを、もっと慎重にやるべきだったのではないか。

A 公園用地の買収時は、「やはたも」栽培農地は少なく、作付面積が大幅に減る状況ではなく、圃場の確保に大きな問題は生じないものであった。公園の用地選定については、竜王中部公園の都市計画決定エリアの縮小に伴い、代替地が必要であった。近隣に空いた土地がなかったことと、地震等自然災害時への対応策として、玉幡中、保健センター等の公共施設と一帯の避難場所、また、災害復旧活動の場として利用できるよう、当該地とした。



#### その他質問項目

- 競争入札と随意契約の違い等について
- 議会承認前の広報掲載と議会軽視について
- 再任用職員任用に係る条件や資格等について
- 人事異動に係る外部からの進言助言について





### 保坂市政4期目の重点施策実現について

甲斐市民クラブ 齊藤 芳夫

- Q 新型コロナ禍の経済再生対策は。市単独事業はどうか。
- A 市内登録店で使用出来る1人1万円の商品券を全市民に配布した。また、洗えるマスク、エコバックの配布を行った他、国・県と連携しコロナ対策融資に対する信用保証料の補助等各種対策に取り組んでいる。
- Q 土木建設業を支えるため、公共工事増は効果が期待できるか。
- A 公共施設個別施設計画に沿って検討がなされ、必要経費の平準化を図っている。今後も緊急を要する事業に対しては、その都度対応を行うが、財政事情も含め可能な範囲で対応する。
- Q ふるさと納税の市での経済波及効果等、具体的な数字を伺う。
- A 平成27年度から順調に増収になって推移している。令和元年度の寄附件数5万件以上、金額は8億4千万円以上となり大幅な増収と推移している。結果を振り返ると電車・新聞・インターネット広告の結果と思える。
- Q 返礼品の中で人気の高いもの、また、一人の最高寄附額は。
- A 人気の高い、市内産シャインマスカットや甲州ワインビーフなどは、リピーターも多く好評であり、また、市内の温泉ホテルである「神の湯温泉」の利用券なども好評である。一人当たりの最高寄附金額は113万円で返礼品は、ワイン複数本である。
- Q この事業での収益基金が現在4億5千万円程になったが、順調に推移するようであれば、特定財源としての活用はどうか。
- A 寄附者からの意向を踏まえ活用させていただいている。特定財源化については他自治体の状況を参考にし、今後検討する。
- Q 市長選公約の「水害に強い、まちづくり」について、具体策は。
- A 釜無川をはじめ、多くの河川を抱える本市では水害対策に注力してきた。その中でも釜無川の治水対策は重要に感じ、本市を中心とした国・県・山梨大学と4者で構成する「信玄堤」令和の治水構想研究会を設立し、令和3年1月に研究会を開催する予定である。
- Q 洪水ハザードマップの更新が来年度に先送りになった理由は。
- A 本年度、県が調査し直している貢川、鎌田川の想定浸水深のデータが来年度に更新となったためであり、市としては短時間降雨量の増加に対応するため浸水区域外の民間事業所などと災害時施設利用協定を進めている。



#### その他質問項目

- 市役所機能の安全対策を含む改善策について
- 図書館を緑化センター跡地に移転はについて
- 市民要望のインフラ整備の処置対策について
- バス通りと廃軌道の整備安全対策について



### 水害に強いまちづくりについて

創政甲斐クラブ 赤澤 厚

- Q 市長の選挙公約に掲げた、「水害に強いまちづくり」を進めるためには、国土強靱化地域計画の策定が必要となるが、本市の状況について伺う。
- A 国土強靱化は、いかなる大規模自然災害等が発生しても、人命の保護が最大限図られ、様々な重要機能が機能不全に陥らず、迅速な復旧復興を可能にする地域づくりが重要とされている。関係部局を強靱化を担う庁内部局と定め、それぞれが主体となる意識を持ち、連携して情報を共有しながら進める体制を構築する。国土強靱化地域計画の策定は、令和3年度内を目指し、当初予算に必要な経費を計上する。
- Q 国土強靱化地域計画の策定に伴い、既存計画の見直しが必要になると考えるが、その調整はどのように図るのか。
- A 各関係部局において、計画策定に係るリスクシナリオを設定し、回避するための施策を地域の状況に応じて設定することが重要であることから、既存計画等の再検証を行い、計画の見直しや修正をすることで国土強靱化地域計画との整合性を図って行く。
- Q 策定した地域計画に位置付ける施策の取組には、国から交付金や補助金が支援されると聞かす市の考えは。
- A 計画の策定により、各種補助事業の対象範囲が拡大する可能性に期待している。財政計画との両立を図りながら、交付金等に対する確実な対応を図る。
- Q 計画策定には、広範囲な関係者との連携や協力が必要だが、どのように考えているか。
- A 地域における強靱化の効果的な推進には、多様な団体との連携や協力が不可欠である。土地利用のあり方や、警察・消防、医療、交通・物流、エネルギー供給、情報通信、ライフライン、行政等の各機能を強靱化の観点で検証し、対応策を考え、施策を推進するものであることから、市内外の各組織や民間事業者等と緊密に連携して計画策定を進める体制を考えている。
- Q 計画策定には、コンサルタントを使わず、市の職員が積極的に取り組むべきと考えるがどうか。
- A 計画策定において、地域の特性によるリスクを想定することが重要であり、地域の実情を反映させた対応計画の検討部分は、職員が直接行い、進行管理などの定例業務を外部に委託することにより、策定期間の短縮を目指したいと考えている。



#### その他質問項目

- 予算を拡充し教育現場の環境改善について
- 親子で集える新たな拠点施設整備について
- 高齢者が安心して集える環境整備について
- 定員適正化計画および職員採用計画について



## 一般質問



第4回定例会では、6人の議員が一般質問を行い、2日間にわたり活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、11ページから13ページです。なお、市議会ホームページで、一般質問の録画映像を配信していますのでご覧ください。

録画映像のQRコードはこちら



甲斐市議会 議会中継

検索

一般質問の詳細な内容については各議員のQRコードからご覧いただけます。

一般質問とは、行政全般にわたり、議員個人が執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または、疑問を質すことをいいます。



### バイオマス発電について

- Q バイオマス発電事業の目的は何か。
- A 現在、森林整備計画による主伐や間伐材のうち、製材利用されない部分については、搬出コストが販売価格に見合わないため、林地残材として放置されている。また、松くい虫の被害木についても、伐採後の搬出が難しいことから、薬剤処理や伐採のみで処理されており、森林荒廃が進行している。木質バイオマス発電事業は、山梨県域で発生する、林地残材や松くい被害木を燃料チップとして活用を図ることで需要を創造し、森林再生の促進を図る事を目的としている。また、本事業の推進により、政府が目標として掲げる2050年までに温室効果ガスの実質排出量ゼロへの取り組みに寄与し、世界的な脱炭素社会の実現に貢

- 献するとともに、コロナ禍が、地域経済に影響を及ぼす中で、市税収入や関連雇用の増加や、関連事業による経済効果等も見込まれる事業であると認識している。
- Q 日立造船は燃料となる木材が、必要な量を確保できないということだが、この計画での発電規模で必要とする燃料となる木質チップは、年間どのくらいか。
- A 発電事業者へ確認したところ、年間8万トンと聞いている。



#### その他質問項目

- 日立造船(株)の事業撤退の経緯について
- 事業承継する予定の事業者について



### スマート自治体への転換について

- Q 全国で注目のスマート自治体。AI・RPAのICT技術が職員の単純作業を軽減、より価値のある業務に力を注げ、オンライン化など市民サービスの向上にも繋がる。他自治体の状況は。
- A 全国約170の自治体が業務を自動化するRPAを活用。主な業務は財政・会計、健康・医療、児童福祉・子育て等。県内では山梨県がAIによる議事録作成支援システムを昨年7月に導入した。本市では若手職員中心のプロジェクトチームを設立し、提言書「SMART甲斐TARGET」を作成。
- Q 市民の利便性向上については。
- A 市町村総合事務組合の「やまなしくらしネット」があるが利用が進まない状況。今後は改善点を研究し利便性の向上に努める。また「SMART甲斐TARGET」では、窓口に住民向けタブレットを導入し各窓口を一括化する提案があった。
- Q スマートシティ、スマート農業など新たな事例が広がっている。市内で期待される取り組みは。
- A 自然や子育て環境、アクセスが強みの本市にスマートオフィスを設置し、リモートワークが進む都心への移住政策を進めたい。またドローンを活用した買い物・交通支援サービス等、来年度設置するスマートプロジェクト推進課において検討したい。



#### その他質問項目

- 本市独自のオンラインサービス構築について
- スマートプロジェクト推進課の新設について
- CIO(最高情報責任者)の任用について
- 議会タブレット化ICT化への対応について





## 新型コロナウイルス感染症対策について

- Q** 発熱外来を設置している医療機関はどの程度になっているか。
- A** 県では施設の名称を公開していないが、「診療・検査医療機関」は県内200施設を超えていると聞いている。
- Q** 市によっては、発熱時の受診の心得や検査可能機関の電話番号が記載されたチラシを配っている。発熱外来の診察施設、時間などをホームページで開示できないか。
- A** 県に確認したところ公表を行わないことにしている。本市では、かかりつけ医に電話すればわかる体制になっている。
- Q** 高齢者施設などでの感染が危惧される。独自のPCR検査を実施している世田谷区では、無症状の陽性者が確認され、感染予防につながった。本市の高齢者施設でも検査を進めるべきではないか。
- A** 高齢者施設等では、自費でPCR検査を実施することが可能になっている。また、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金によって検査費用が全額補助の対象となる。
- Q** 医療機関や高齢者施設で集団感染が発生した場合、旭川市のように大変な事態になる。施設等での検査を進めてほしいが、進んでいない。理由はあるのか。
- A** PCR検査は検査時の感染の有無を判断するだけなので、実施しない施設もある。検査実績は非公開のため、把握できていない。



### その他質問項目

- 介護の充実と介護保険料の負担軽減について
- 上水道事業の公営企業化のメリットについて
- (仮称)篠原地区公園の整備について



## 通学路の安全対策について

- Q** スクールゾーン指定区域は何ヶ所あるか。
- A** 地域と学校の働きかけにより、警察や道路管理者が協議し、道路交通法上の規制をかけるものである。市内については、現在、小学校6校において、7カ所の区域が規制されている。
- Q** 指定時間内侵入禁止の啓発標識等について。
- A** スクールゾーンの入り口には、警察による規制標識や路面標示、学校での対応といったしましては、竜王小で山縣神社西側のスクールゾーンで、PTAが独自に作成した立て看板の設置や、保護者自らがプラカードを持ち啓発している。

- Q** 路面標示の具体的劣化対策について。
- A** 通学路合同点検などに基づき、劣化箇所の補修や危険箇所の路面標示など整備を行っている。市道などの道路維持管理においても、区画線等の補修実施計画により劣化が進んでいる道路の区画線や路面標示について、計画的に補修工事を実施している。今後についても、定期的にも実施している道路維持パトロールを強化し、劣化箇所についても適切な対応を行っていく。



### その他質問項目

- 今後の防災訓練のあり方について
- 防災マップ組織図作成の留意点について
- 防災リーダー名簿の開示について
- 犯罪等の抑止対策について



## 文化芸術、文化財の活用について

- Q** 子供達や市民が文化芸術に親しみ、学習する機会を確保するための事業の実績と、今後の計画について聞く。
- A** 双葉ふれあい文化館を中心に、小中学校音楽祭など16事業の実施や、各学校独自に古典芸能などの芸術鑑賞事業も実施している。今後も、豊かな創造力や思考力などを養う文化芸術事業の充実に努める。
- Q** 文化財の保管状況や活用状況、また今後の活用計画について聞く。
- A** 市の文化財は、竜王図書館ほか市内8施設で保管管理をし、活用方法は、双葉歴史民俗資料館等での展示のほか、県立博物館など市外施設への貸出展示や、市内小学校で社会科教材としても活用している。今後は、来年度策定予定の文化財保存活用地域計画を基に、計画的な活用に取り組んで行く。



- Q** 県内13市のうち、学芸員が常駐する資料館や美術館は、甲斐市、上野原市を除く11市に存在する。日本遺産への注目も集まっており、市内外にPRするためにも、資料館の建設を考えてはどうか。

- A** 歴史遺産を活用し、広く情報を発信していくために、文化財保存活用地域計画の中で、施設の整備計画についても明示して行きたいと考えている。

### その他質問項目

- 中学生の自転車通学数と保険加入数について
- 正しい自転車利用への取り組み強化について
- 自転車安全利用に関わる授業の導入について
- 発光装置購入や保険加入への補助について



## 日本遺産選定の「御岳古道」の整備について

- Q** 御岳古道の歴史と構成文化財とは。
- A** 古道は平安時代から金峰山信仰参拝や金桜神社への参拝道として利用された。本市では御岳古道や旧金桜神社石鳥居、常設寺の白輿、旧羅漢寺の遺構など8件が所在し、吉沢口ルートは江戸時代の浮世絵師の歌川広重が歩いた。
- Q** 今回の構成文化財の他、未指定の文化財の保護も必要。
- A** 今後、様々な基礎調査を実施・検討する。
- Q** 甲府市および甲斐市への文化庁からの助成金は。
- A** 昇仙峡地域活性化推進協議会を通して、今後3年間に亘って交付され、学術調査や整備に活用できる。
- Q** 今後の古道の整備計画は。
- A** 解説表示板、案内表示板の整備やベンチの設置の他、

- 森林組合などと協議し、倒木の除去に努める。トイレや駐車場新設についても調査・研究する。
- Q** 古道整備の他、新規に観光コース開拓も必要だが。
- A** 棚田やクラインガルテンの施設や催しを活用し、気軽に楽しめる新たなコースの開拓や地域振興策を検討する。
- Q** 地元農産品や新規特産品の開発等経済効果を期待できるか。
- A** 甲斐市ブランドを強化し、都市部と地域住民の交流事業の活発化、特産品や観光スポットなど、効果的、効率的に地域ブランドの認知度と評価を高める。



### その他質問項目

- 今後の古道の事業実施やPRについて
- 「御岳古道を復元する会」の活動について
- 茅が岳広域農道の完成見通しについて
- 長澤橋付替工事の進捗と今後の保存について



# 令和2年 第4回臨時会

### 臨時会のあらまし

令和2年第4回臨時会は、10月21日の1日間の会期で開かれました。市長から4期当選(任期:令和2年10月3日~)に伴う、就任のあいさつがあり、その後、物品売買契約締結の件および教育委員会委員の任命の件等の議案が提出され、審議の結果、全て原案のとおり可決・同意されました。

### 市長あいさつ要旨

9月20日の甲斐市長選におきまして、市民の多くの皆さまの力強いご支援と、温かいご厚情により、4期目として、引き続き、市政を担わせていただくこととなり、大変光栄に存じますとともに、その職責の重さに、改めて身が引き締まる思いであります。

さて、市長に就任して以来、「誠実な人となれ」を信条に、常に現場に足を運び、市民の声に耳を傾け、市政に取り組んで参りました。今後も引き続き、私に課せられた責務の重大さを感じつつ、公正で、民主的な市政運営を心がけ、全身全霊を傾注して参る所存であります。

4期目の市政運営にあたり、「コロナに負けない、住みやすい、まちづくり」、「水害に強い、まちづくり」、「すくすく育つ、子育てしやすい、まちづくり」、「健やかに、高齢者が安心できる、まちづくり」、「スマート甲斐市、新しいKAIスタイル、次世代につなぐ、まちづくり」の5つの公約を掲げております。本市の一層の発展のため、非常に重要な取り組みであると考えておりますので、公約の実現を目指し、力強く、着実に前進して参ります。



### 物品売買契約締結

**契約概要** 新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症に備えて洗えるマスク(3歳以上の市民1人3枚)を配布するための購入

件名	ウォッシュブルマスク購入
契約の方法	随意契約
契約金額	7,546万7,700円
契約先	株式会社ユニクロ 代表取締役 柳井 正

**契約概要** 新型コロナウイルスの影響による、消費喚起のため、買い物時に使用するエコバッグを1世帯1枚配布するための購入

件名	エコバッグ購入
契約の方法	随意契約
契約金額	4,727万3,600円
契約先	株式会社マーナ 代表取締役社長 名児耶 美樹

※市の条例により、予定価格1億5,000万円以上の工事または製造の請負、予定価格2,000万円以上の不動産、物品購入等の契約は、議会の議決が必要とされている。  
※短期間で大量の商品を確保する必要があることから、随意契約とした。

### 人事

任期満了(令和2年11月2日)に伴い、次の方々の任命・選任に同意しました。(※敬称略)

案件氏名	教育委員会委員の任命	監査委員の選任	公平委員会委員の選任
中込 正久(再任)	小林 春男(再任) 平賀 和久	長田 修	

# 令和2年 第5回臨時会

## 臨時会のあらまし

令和2年第5回臨時会は、11月25日の1日間の会期で開かれました。市長から国の人事院の給与勧告等に伴う、甲斐市職員給与条例等の条例改正および一般会計補正予算等(人事院勧告等に伴う人件費)の議案が提出され、審議の結果、全て原案のとおり可決されました。

## 条例 甲斐市職員給与条例の一部改正

### 条例改正の内容

令和2年10月の人事院および山梨県人事委員会からの給与勧告に伴い、職員の特別給(期末・勤勉手当)について年間支給月数の0.05月分(4.50月を4.45月に)を引下げるもの。

### 反対討論

谷口和男 議員

第三波ともいわれる新型コロナウイルス感染症の感染拡大が全国的に広がり、こここのところ、新規感染者数が過去最高を更新している。市民への感染予防および市民の暮らしを守るため、引き続き市職員の奮闘と努力が求められている。コロナ禍でもがんばっている市職員の一部の一時金を減額する条例案については反対である。

### その他、臨時会で可決された条例

- 甲斐市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- 甲斐市の市長等の給与等に関する条例の一部改正
- 甲斐市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

### 補正予算

甲斐市一般会計補正予算(第6号)	3,179万5千円	減額
甲斐市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	9万9千円	減額
甲斐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	9万4千円	減額
甲斐市介護保険特別会計補正予算(第3号)	75万8千円	減額
甲斐市介護サービス特別会計補正予算(第1号)	4万3千円	減額
甲斐市地域し尿処理施設特別会計補正予算(第2号)	1万1千円	増額
甲斐市水道事業会計補正予算(第2号)	80万4千円	増額
甲斐市簡易水道事業会計補正予算(第2号)	6万円	増額
甲斐市下水道事業会計補正予算(第2号)	9,919万9千円	減額

### 各種団体と意見交換会を開催

#### 総務教育常任委員会12月1日 / 甲斐市校長会

市内16校の校長先生に出席していただき、各校での「コロナ禍における学校対応」の発表や、市に対しての要望など活発な意見交換を行いました。



#### 厚生環境常任委員会11月30日 / 甲斐市愛育連合会

正副会長はじめ役員の皆さんに出席していただき、「愛育連合会の現状と今後の取り組み」「各支部の活動内容」の発表や、市に対しての要望など活発な意見交換を行いました。



#### 建設経済常任委員会11月20日 / 峡中広域シルバー人材センター

理事および事務局の皆さんに出席していただき、「シルバー人材センター事業の現状と今後の取り組み」の発表や、市に対しての要望など活発な意見交換を行いました。



# 特別委員会レポート

第4回定例会までに開催された各特別委員会の活動(調査)状況をお知らせします。

### 議会改革特別委員会

日付	内容
令和2年12月11日	(1)議会基本条例について (2)市民対話集会について (3)タブレット端末導入について

### 山梨県緑化センター跡地活用特別委員会

日付	内容
令和2年10月20日	(1)用地取得に伴う山梨県との協議について (2)(仮称)篠原地区公園の公園区域について
令和2年11月25日	旧山梨県緑化センターの跡地活用に対するアイデア募集について

### バイオマス産業都市構想特別委員会

日付	内容
令和2年10月29日	甲斐市木質バイオマス発電事業の事業経過について
令和2年12月 1日	甲斐市木質バイオマス発電事業に係る確認事項について
令和2年12月 9日	甲斐市一般会計補正予算(第7号)の審査

### 令和3年度当初予算への要望書を市長に提出

決算審査特別委員会(有泉庸一郎委員長、清水和弘副委員長)では、昨年度に引き続き、議会改革の取り組みの一環として、各常任委員会から出された意見を踏まえ、次の事業について新年度当初予算に反映されるよう11月13日に市長へ要望しました。



#### 1 ALTを増員するための予算確保について(総務教育常任委員会)

今後のグローバル化に向け文部科学省では、外国語教育に力を入れ、授業時間を増やしているが、ALT人材の確保・拡充はなかなか行えていないのが現状である。活きた語学学習は、ネイティブ・スピーカーに接することが一番であり、その機会を増やすためにもALT人材の確保・拡充を図るための予算確保を強く要望する。

#### 2 高校生までの子ども医療費の窓口無料化について(厚生環境常任委員会)

人口減少対策として、医療費窓口無料化の拡充により、子育て世帯が本市に移住してもらうためにも、すでに実施している県内6市に遅れをとらないよう、早急を実施すること、また、コロナ禍の現在、通院を控える動きもあり、必要な医療が受けられるように促すためにも、昨年度に引き続き、強く要望する。

#### 3 道路・水路の改良及び補修工事費の増額について(建設経済常任委員会)

自治会からの道路(農道を含む)・水路の改良や補修工事の要望等は、過年度からの積み上げ等もあり、対応しきれていない状況が見受けられる。緊急性、必要性を鑑みながら、速やかな対応が図られるよう、引き続き予算措置を要望する。

## 委員会構成の変更

令和2年10月31日付けで藤原正夫議員から議会運営委員会委員の辞任願が提出され、次のとおり新たに委員の選任が行われました。

●議会運営委員会委員 長谷部集議員

## お知らせ

本年度予定していた「市民と議会の対話集会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止といたしました。

## 特集『輝く仲間たち』への掲載記事募集中

市内で活動している方(団体)であれば、年齢・性別・職種等を問わず、活動内容を掲載することが可能です。詳しくは、市議会ホームページまたは、議会事務局まで問い合わせください。

甲斐市議会事務局 庶務・議事係 TEL055(278)1673

## 議会を傍聴してみませんか!

手続きは簡単です。本会議の当日、傍聴人名簿に氏名・住所・年齢を記入していただくだけです。議会を傍聴することは市政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。

なお、現在は、新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴制限をかけることもありますので、ご確認ください。

### 令和3年 第1回定例会 の日程(予定)

※日程等に変更がある場合もあります。  
※お気軽にお越しください。

※傍聴に際し、手話通訳が必要な方は、福祉課へお申込みください。

TEL.055-278-1691  
FAX.055-276-2113  
メール.kai-shuwa@i.softbank.jp

日	月	火	水	木	金	土
2/28	3/1	2 本会議 (一般質問) 10:00~	3 本会議 (一般質問) 10:00~	4 本会議 (一般質問) 10:00~	5 厚生環境常任委員会9:30~ 建設経済常任委員会13:30~	6
3/7	8 総務教育常任 委員会 9:30~	9 委員会 予備日	10 本会議 (採決等) 10:00~	11	12 予算審査 特別委員会 9:30~	13
3/14	15 予算審査 特別委員会 9:30~	16 予算審査 特別委員会 9:30~	17 予算審査 特別委員会 9:30~	18 予算審査 特別委員会 9:30~	19	20
3/21	22 委員会 予備日	23 本会議 (採決等) 14:00~	24	25	26	27

\*\*\*引越しのお手伝い致します\*\*\*

## 不用品の買取・回収・販売

★ゴミの片付け・遺品整理も致します。

## リサイクル 登美の坂

甲斐市龍地 88-1 (年中無休)

☎0551-28-6262

出張回収にも伺います!お気軽にお電話ください。

## 有料広告

農業体験による障がい者の社会参加をめざして  
NPO法人甲斐志麻の里ファーム

就労移行支援事業所

就労継続支援B型事業所

地域活動支援センターかいしま

ブドウ各種・小梅・枯露柿・原木しいたけ、受託作業・古紙回収  
トイレトーパー販売など…



住所 甲斐市島上条1277-1

電話・fax 055-288-1241

携帯 090-2623-6309

### 議会広報常任委員会

委員長 滝川美幸 | 委員 加藤敬徳  
副委員長 谷口和男 | 委員 小澤重則  
委員 伊藤毅 | 委員 長谷部集

この有料広告に関する掲載基準や申込書などは、市議会HPに掲載しています。(1枠につき1回2万円)  
HPアドレス <http://www.kai-shigikai.jp/>

